

豊里中学校防災教育推進ポスター

阪神淡路大震災の様子（平成7年1月17日午前5時46分）
死者：6,434名 行方不明者：3名 負傷者：43,792名



この震災により、災害派遣医療チームの設置や情報ネットワーク整備が進んだ。

あの日を忘れない!

あっ地震! 次の行動に出る
「真の防災意識」



東日本大震災の様子（平成23年3月11日午後2時46分）
死者：15,841人、行方不明者：3,490人、重軽傷者：5,890人

これまでに経験したことのない災害であり、日常生活で「どんな対応をするか」という意識を常に持つ事の必要性を全ての人々に認識させた大震災である。

関東大震災の様子（大正十二年九月一日十一時五十八分）
 死者・行方不明、約十萬五千人、被災者数百九十万人
 この震災により、日本で初めての耐震基準が規定された。
 この市街地建築物法は、後の建築基準法の元となった。

この震災で、いち早く復興をめざしたのが「波沢栄一翁」でした。
 栄一翁は、民間組織として「協調会」と「大震災善後会」の二つを
 主軸に救済と復興を担っていきました。
 この組織を使って「罹災者収容」「炊出し」「災害情報板設置」
 「掲示板」「臨時病院」など多岐にわたる活動に取り組んでいったのです。



シカゴ（米）で始まった
日本への義援金募集

不意の地震に不断の用意



東京都銀座四丁目 数寄屋橋の
 震災記念塔（昭和8（1933）年
 建立）関東大震災十周年の記
 念塔として昭和8（1933）年9月
 1日に、募金（震災共同募金会）
 により建立されたもので、作者
 は、北村 西望氏である。この
 塔に「不意の地震に不断の用意」と刻まれている。